

SQL トレーニング ～研修受講前テスト 解答～**■問題1【問合せの基本操作】**

SELECT 処理について、以下の説明文から正しいものを2つ選んで下さい。

- 全列を選択する場合、列名の代わりに「*」を使用できる。
- 複数の列を問合せた場合、常に表作成時の列の順序に従って検索される。
- 検索処理において、一時的に列に別名を定義できる。
- 複数列を問合せる場合、列名と列名の間をスペースで区切る。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>2-3 ～ 2-8

■問題2【問合せの基本操作】

SELECT 処理で表の中から一部の行だけを検索する方法として正しいものを1つ選んで下さい。

- DISTINCT句を使用する。
- GROUP BY句を使用する。
- WHERE句を使用する。
- ASキーワードを使用する。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>2-13

■問題3【問合せの基本操作】

SQL 関数について正しいものを1つ選んで下さい。

- TRUNC関数を使用して、数値の計算や四捨五入などの処理ができる。
- SYSDATEを使用して、現在の日時を確認することができる。
- UPPER関数を使用して、受取った文字を小文字にすることができる。
- LENGTH関数を使用して、文字列から文字を抜き出すことができる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>2-53 ～ 2-66

■問題4【問合せの応用操作】

副問合せの説明で正しいものを1つ選んで下さい。

- 副問合せとは、複数の SELECT 文の結果を1つにまとめて表示させる問合せのこと。
- 副問合せとは、問合せの中に含まれた別の問合せのこと。
- 副問合せとは、曖昧な検索をする際の問合せのこと。
- 副問合せとは、条件を指定してデータ検索を行う問合せのこと。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>3-1 ~ 3-2

■問題5【問合せの応用操作】

表の結合の説明として正しいものを2つ選んで下さい。

- 結合できる表の数には制限がある。
- 外部結合をすると、結合対象の行がない場合でも検索できる。
- 同じ表同士で結合することはできない。
- 等価結合は、同じ値同士の行のみを結合する。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-21

■問題6【DMLの基本操作】

以下の選択肢から DML (INSERT、UPDATE、DELETE) について正しいものを1つ選んで下さい。

- DML処理では、表を作成することもできる。
- INSERTコマンドを使用して表にデータを列単位で挿入できる。
- UPDATEコマンドを使用して表のデータを列単位で更新できる。
- DELETEコマンドを使用して表構成とデータを削除できる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>4-1 ~ 4-2

■問題7【トランザクション制御】

トランザクションの説明で正しいものを2つ選んで下さい。

- トランザクションとは、データベースに行う論理的な作業単位のことである。
- トランザクションを制御するコマンドはCOMMITのみである。
- 2つ以上のSQLを発行しないとトランザクションは成立しない。
- インスタンス障害が発生すると、トランザクション中だった処理は自動的にROLLBACKされる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>5-1 ~ 5-8

■問題8【同時実行制御】

同時実行制御の説明で正しいものを2つ選んで下さい。

- 検索対象行を明示的にロックできる。
- 2人以上のユーザーが互いにロックをかけあうとデッドロックが発生する。
- FOR UPDATE句を使用すると複数ユーザーが同じデータに同時アクセスできる。
- ロック待機状態を避ける方法はない。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>5-9 ~ 5-19

■問題9【DDLの基本操作】

DDL操作の説明で正しいものを1つ選んで下さい。

- 既存の表をもとに新しい表を作成することもできる。
- DROPコマンドを使用して、表のデータのみを削除できる。
- 既存の表に列を追加したり、制約を定義できない。
- 1ユーザーで同名の表を複数作成できる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>6-1 ~ 6-42

■問題 10 【DDL の基本操作】

オブジェクト権限について正しいものを1つ選択して下さい。

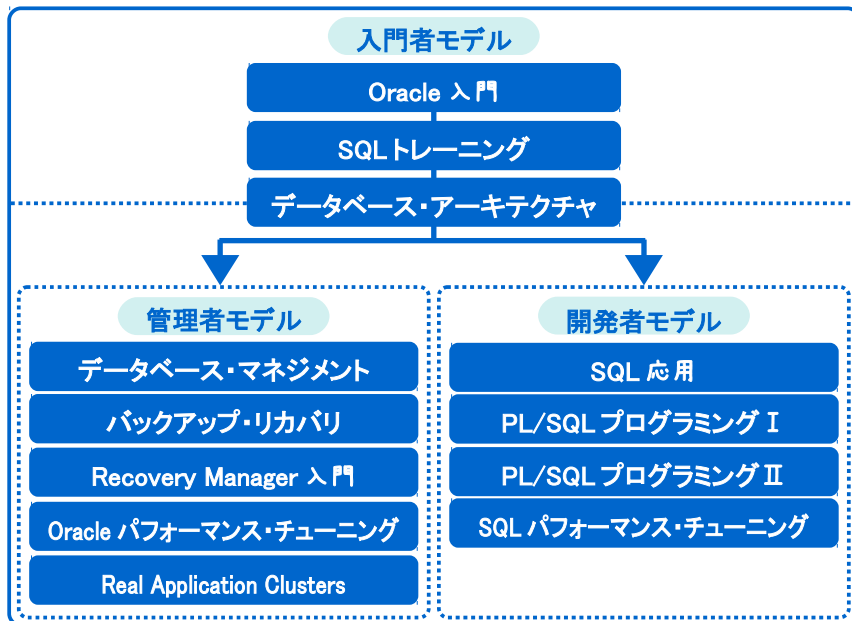
- 全ての権限を一度に付与することはできない。
- 他のユーザーのオブジェクトに対して、SELECT処理は全てのユーザーが行える。
- 他のユーザのオブジェクトにアクセスする場合は、オブジェクトのスキーマ名が必要である。
- 権限を付与するときにはREVOKE、取り消すときはGRANTというコマンドを使用する。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所>6-55 ~ 6-58

Information

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>
 Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>
 管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>
 Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】edusup_ora@ashisuto.co.jp